

進行・再発 胃癌

トラスツズマブ + ペムプロリズマブ + SOX療法 PD-L1陽性 (GPS>1) かつHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発胃癌 < 21日間隔・Pembro 最大35コースまで >

G-44

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5~14日目	第15日目	第16~21日目	第22日目	
治療内容										
検査	採血	○							○	
	胸部X線	○							○	
診療	副作用の問診	○							○	
	検査結果	○							○	
治療中止基準	SOX ①WBC 3000未満 ②好中球 1500未満 ③血小板 7.5万未満 ④AST, ALT>2.5×ULN (肝転移は×5) ⑤Cre>1.2×ULN ⑥発熱・CRP上昇、PS2以上 ⑦G2以上の下痢、口内炎、手足症候群	ペムプロリズマブ ①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>3×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ULN ⑦G2以上の下痢 ⑧自己免疫疾患の発症疑い								
内服	TS-1初回基準量 1.25m2未満：40mg/回 1.25m2以上1.5m2未満：50mg/回 1.5m2以上：60mg/回 朝夕食後2× 【14日間投与で7日間休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝食後	休	↓ 夕食後	
点滴	①生食 50mL 点滴静注【全開】	○							○	
	②生理食塩50ml +キイトルーダ 200mg 点滴静注【30分】 フィルター付きルートで	○							○	
	③生食 50mL 点滴静注【全開】	○							○	
	④ 初回 トラスツズマブ 8mg/kg +生理食塩液250ml 点滴静注【90分以上】	(○)	副作用などの理由で予定していたハーセプチン投与が遅れ、投与予定日より1週間を越えた後に投与する場合は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与すること。							
	④' 2回目以降 トラスツズマブ 6mg/kg +生理食塩液250ml 点滴静注【30分以上】								○	
	⑤生食50mL 点滴静注【全開】	○							○	
	⑥生食100mL +パロノセトロン0.75mg +デキサート 3.3mg×2A 点滴静注【30分】	○							○	
	⑦5%ブドウ糖500mL +オキサリプラチン(130mg/m ²) 点滴静注【2時間】	○							○	
⑧生食50mL 点滴静注【全開】	○							○		

看護のPoint!!

オキサリプラチンによる過敏症症状に注意。呼吸困難感、かゆみ、発赤、皮疹など。

主治医に報告し、次回からファモチジン注とボラミン注の前投与を考慮する（内服でも可）。

オキサリプラチンによって末梢神経障害が起こりやすい。まずは冷たいものの接触を避ける。

末梢からオキサリプラチン投与時、血管痛あるかも。温めてあげたり投与時間をゆっくりしてあげる。

TS-1で口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告（TS-1との相互作用あり）

免疫調節薬があるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）